

平成三十年度

適性検査Ⅰ

9 : 0 0

）

9 : 4 5

〔注意〕

- 1 問題は①から②まであり、この問題冊子は一ページから二十二ページにわたって印刷してあります。ページの抜け、白紙、印刷の重なりや不鮮明な部分などが無いかを確認してください。あつた場合は手をあげて監督の先生の指示にしたがってください。
- 2 解答用紙は二枚あります。受検番号と氏名をそれぞれの決められた場所に記入してください。
- 3 声を出して読んではいけません。
- 4 計算が必要なときは、この問題用紙の余白を利用してください。
- 5 答えはすべて解答用紙に記入し、解答用紙を二枚とも提出してください。
- 6 字ははっきりと書き、答えを直すときは、きれいに消してから新しい答えを書いてください。

横浜市立南高等学校附属中学校

1 みなみさんは、「メディアを通じて得られる情報」に興味を持って、何冊か本を読みました。みなみさんが集めた次の【ア】【イ】の資料を読んで、あとの問題に答えなさい。

【ア】 ニュースキャスター（報道・解説をする人）が言葉の力について考えたことを書いた文章

省略

省略

省略

省略

省略

省略

(国谷^{くにや} 裕子^{ひろこ} 『キャスターという仕事』より。一部省略やふりがなをつけるなどの変更^{へんこう}があります。)

〔注〕

- ※1 ジャーナリスト・・・新聞・雑誌^{ざっし}・テレビ・ラジオなどの記者・編集者のこと。
- ※2 ベトナム戦争・・・一九六〇～七〇年代に、ベトナムで行われた戦争のこと。

- ※3 ホワイトハウス・・・アメリカ合衆国政府のこと。（本文の場合）
- ※4 飢餓・・・食べ物がなくうえること。
- ※5 ネガティブ・・・消極的・否定的なこと。
- ※6 既存・・・すでに存在していること。
- ※7 時々刻々・・・しだいに。
- ※8 凌駕・・・他のものを上回ること。
- ※9 イラク戦争・・・二〇〇三年、イラクで行われた戦争のこと。
- ※10 拮抗・・・互いに同じような力で張り合うこと。
- ※11 俯瞰・・・高いところから広く見わたすこと。
- ※12 洞察・・・ふつうの人が見抜けない点までを、直感やすぐれた観察力で見抜くこと。
- ※13 喚起・・・意識されずにあったことを、きっかけを与えて呼び起こすこと。
- ※14 収れん・・・集めて一つにまとめること。
- ※15 往々にして・・・そうなることが、しばしばあるということ。
- ※16 プロセス・・・ものごとが進行・変化していく一連のみちすじのこと。
- ※17 グラデーション・・・段階的な変化のこと。
- ※18 二元化・・・二つの対立する立場から、ものごとを見ること。

【イ】フリーライターがインタビュウについて書いた文章

省略

省略

省略

省略

省略

(永江 朗『インタビュー術!』より。一部省略やふりがなをつけるなどの変更があります。)

〔注〕

- ※ 19 捏造ねつぞう・・・事実をねじまげて、好きなように話をつくってしまふこと。
- ※ 20 郵政民営化ゆうせいみんえいか・・・国が行っている郵便事業ゆうびんを、民間で経営できるようにすること。
- ※ 21 巧妙こうみょう・・・おもわず感心するほど、たくみなこと。
- ※ 22 追認ついにん・・・過去にさかのぼってその事実を認めること。
- ※ 23 フェア・・・公正で、礼儀正れいぎしいこと。
- ※ 24 旗色はたいろ・・・戦争や試合などの、勝ち負けのなりゆきのこと。

- ※ 25 虚構きょこう・ ・ ・ ・ ・ いかにも事実のようにつくりあげること。
- ※ 26 恣意しゐい・ ・ ・ ・ ・ 自分の勝手気ままにふるまう心。
- ※ 27 クレジット・ ・ ・ ・ ・ 映画やテレビ番組の、出演者やスタッフなどの表示のこと。

問題 【ア】【イ】の資料をもとに二つの文章を書きなさい。一つは①【資料が伝えていることを短くまとめる文章】、もう一つは②【資料の内容について自分が考えたことをまとめる文章】です。ただし、①【資料が伝えていることを短くまとめる文章】と②【資料の内容について自分が考えたことをまとめる文章】の両方に同じ記号の資料を選んではいけません。次の「条件」と「注意事項」にしたがって書きなさい。

「条件」

- 選んだ資料の記号ア、イをそれぞれ解答用紙の【 】に書くこと。
- 【資料が伝えていることを短くまとめる文章】は、三百字以上三百五十字以内で書くこと。
- 【資料の内容について自分が考えたことをまとめる文章】は、自分がこれまで学習したことや体験したことと関連させて二百字以上二百五十字以内で書くこと。
- 複数の段落をつくって、文章全体を構成すること。

「注意事項」

- 題名は書きません。一行目、一マス下げたところから書くこと。
- 原稿用紙の適切な使い方にしたがって書くこと。（ただし、解答用紙は一行二十マスではありません。）
- 文字やかなづかいなどに気をつけて、漢字を適切に使い、丁寧に書くこと。

※【資料1】～【資料3】は、満10歳から満17歳までの青少年5000人（うち回収できたのは3442人分）を対象として行った調査の結果を整理したものです。

【資料1】 青少年のインターネットの利用状況

	機器の利用者数	それぞれの機器でのインターネット利用者数
スマートフォン	1886人	1762人
携帯電話	599人	134人
ノートパソコン	754人	699人
デスクトップパソコン	365人	330人
タブレット	809人	699人
携帯音楽プレイヤー	740人	299人
ゲーム機	2285人	1119人
インターネット接続テレビ	124人	69人

(内閣府ホームページをもとに作成)

【資料2】 青少年のインターネットの利用内容

利用内容	コミュニケーション	ニュース	情報検索	動画視聴	電子書籍	ゲーム
小学生 (650人)	30.6%	7.4%	42.5%	56.8%	5.5%	75.1%
中学生 (1083人)	62.9%	23.8%	60.3%	70.5%	10.9%	71.1%
高校生 (995人)	89.9%	40.9%	76.2%	81.5%	19.3%	73.9%

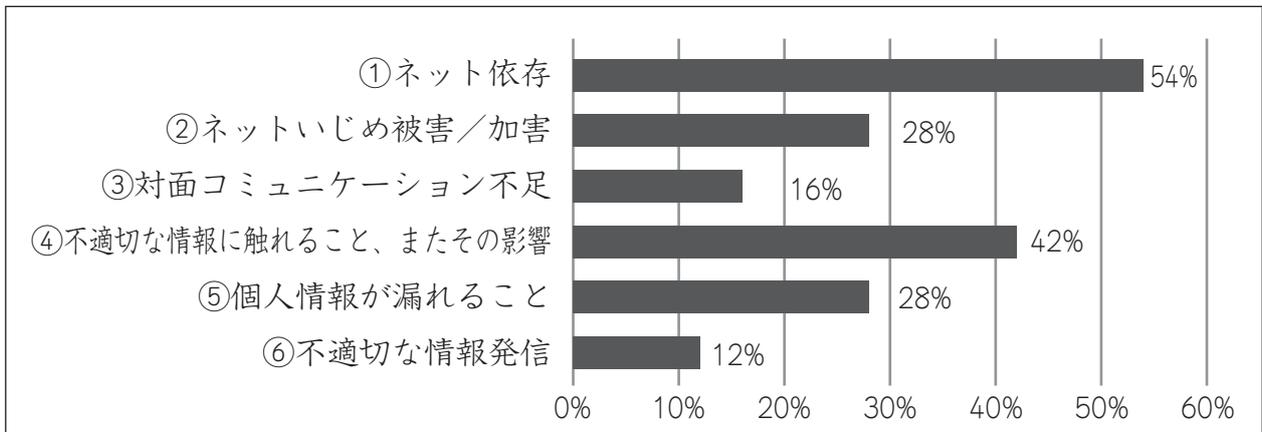
(内閣府ホームページをもとに作成)

【資料3】 青少年のインターネットの利用時間（平日1日あたり）

利用時間	わからない	使っていない	30分未満	30分以上 1時間未満	1時間以上 2時間未満	2時間以上 3時間未満	3時間以上 4時間未満	4時間以上 5時間未満	5時間以上	平均利用時間 (分)
小学生 (650人)	4.8%	5.8%	13.7%	19.7%	28.8%	13.2%	7.2%	4.0%	2.8%	84.8分
中学生 (1083人)	2.1%	3.0%	5.8%	12.7%	30.2%	18.6%	12.7%	6.2%	8.7%	127.3分
高校生 (995人)	1.4%	0.8%	1.8%	5.9%	19.8%	21.8%	17.4%	11.3%	19.8%	192.4分

(内閣府ホームページをもとに作成)

【資料4】小学生低学年の保護者が子どもにインターネットを利用させるうえで不安に思っていること（小学校1～3年生の保護者188人を対象）



（安心ネットづくり促進協議会ホームページをもとに作成）

問題1 みなみさんとまなぶさんは、みなみさんが集めた【資料1】と【資料4】を見ながら、インターネットの利用について【会話】をしています。次の【会話】を読み、(1)～(5)にあてはまる数字や語句として最も適切なものを、あとのア～エから一つずつ選び、記号を書きなさい。

【会話】

みなみさん 私は中学生になって、小学生の時よりもインターネットを利用する時間が増えました。まなぶさんはどうですか。
まなぶさん 私も、中学生になってからインターネットを利用する時間が増えました。資料でも、小学生よりも中学生の方が平日一日あたりの平均利用時間は(1)分多いですね。

みなみさん 私は、何かを調べる際にインターネットを利用することが多くなりました。資料によると、インターネットで情報検索を行う割合が一番高いのは、(2)です。

まなぶさん 多くの方が便利に使っている一方で、気をつけなければならないこともあります。資料を見ると、小学生低学年の保護者の(3)%が、子どもにインターネットを利用させる上で、「不適切な情報に触れること、またその影響」を不安に思っています。他にも、小学生の保護者の半数以上が、子どもにインターネットを利用させるうえで(4)を不安に思っているようですね。

みなみさん まなぶさんの家の方は、どのようなことを心配されていますか。

まなぶさん 私は最近、インターネットを利用してゲームをすることに夢中になっています。ゲームに費す時間が長くなることで、勉強がおろそかになって、叱られてしまうことがあります。

みなみさん 資料を見ると、ゲーム機でインターネットを利用している青少年の割合は、ゲーム機利用者数の約(5)%となっています。

まなぶさん みなみさんは、情報検索以外の目的でインターネットを利用しますか。

みなみさん 私はインターネットを通して友達とよくメールをします。先日、友人に送ったメールの内容で誤解ごかいをまねいてしまったことがあります。

まなぶさん インターネットは便利ですが、使い方に気を付けた方が良さそうですね。

(1)	ア	7.6	イ	42.5	ウ	65.1	エ	212.1
(2)	ア	小学生	イ	中学生	ウ	高校生	エ	保護者
(3)	ア	12	イ	28	ウ	42	エ	54
(4)	ア	対面コミュニケーション不足	イ	ネットいじめ被害 <small>ひがひ</small> ／加害	ウ	エ	ネット依存 <small>いそん</small>	73.4
(5)	ア	33	イ	49	ウ	51	エ	73.4

問題2 みなみさんは、インターネットの利用について、【資料1】～【資料4】を読んで、メモ1～メモ4をとりました。次の

メモ1～メモ4を読み、【資料1】～【資料4】から読み取れるものには○を、読み取れないものには×を書きなさい。

メモ1

資料を見ると、スマートフォンを利用している青少年のうち、93%以上はスマートフォンでインターネットを利用していることが読み取れる。

メモ2

資料を見ると、この調査に回答した小学生から高校生のうち、ゲームでのインターネットの利用人数が一番多いのは、高校生であることが読み取れる。

メモ3

資料を見ると、中学生と高校生の50%以上が平日1日あたりインターネットを2時間以上利用していることが読み取れる。

メモ4

資料を見ると、この調査に回答した25人以下の小学生低学年の保護者が子どもにインターネットを利用させる上で不適切な情報発信に不安を感じていることが読み取れる。

問題3

みなみさんは、【資料4】を読んで、小中学生がインターネットを利用するうえで気を付けるべきことを調べたところ、総務省のホームページで「インターネットトラブル事例集」を見つけました。次の【事例】と【小中学生が常に心掛けたいこと】は「インターネットトラブル事例集」に載っていたものです。

【事例】あぐえは、【資料4】①～⑥のいずれかの不安に当てはまります。また、【事例】あぐえを防ぐために【小中学生が常に心掛けたいこと】としてあとのA～Dのいずれかが当てはまります。【資料4】と【小中学生が常に心掛けたいこと】の組み合わせとして最も適切なものを、あとのア～シから一つずつ選び、記号を書きなさい。

【事例】

あ

<p>メールが大好きなPさん。毎回友だちとのメールを終わらせるタイミングが分からず、夜遅くまでインターネットを使う日々が続きました。</p> 	<p>Pさんは、睡眠不足で午前中の授業に集中できなくなりました。体調や成績に悪影響がでているのに、友だちとのメールはやめられません。</p> 
--	---

い

<p>友だちと海に行ったQさん。スマートフォンで友だちに撮ってもらった写真を気に入って、インターネット上に写真を載せました。</p> 	<p>数日後から、Qさんは下校時に後をつけられている気配を感じるようになりました。インターネット上に載せた写真で個人が特定されてしまったことが原因でした。</p> 
---	--

う

<p>Rさんは、話題の映画のデータが手に入ったので、学校の友だちが見られるようにしようと思い、動画共有サイトに映画のデータを載せました。</p> 	<p>警察は、映画のデータを動画共有サイトに載せたのはRさんと特定。Rさんは制作者の権利を侵した疑いをかけられました。</p> 
--	--

え

<p>複数の友人と楽しめるグループトーク機能。Sさんは、ほとんど発言をせずに友人たちの会話を見て楽しんでいました。</p> 	<p>友人たちは、Sさんがあまり発言をしないことに疑問をもち始めました。Sさん以外のメンバーで「Sさんは友だちではないのではないか。」とインターネット上で話すようになりました。</p> 
---	---

コ キ エ ア

⑤ ④ ② ①

と と と と

C A D B

サ ク オ イ

⑥ ④ ③ ①

と と と と

A C B C

シ ケ カ ウ

⑥ ⑤ ③ ②

と と と と

D B D A

【資料4】と【小中学生が常に心掛けたいこと】の組み合わせ

【小中学生が常に心掛けたいこと】

A

何気なく書いたことで友人を傷付けてしまったり、文字だけのやり取りなので意味を取り違えて誤解をまねいたりすることがないように、送る前には相手の気持ちになって読み返し、内容を確認しましょう。また、すぐに返信が来ないことで不満をもたないようにしましょう。

B

インターネット上に個人情報をおけるのは、街中で自分の名前や学校名を言い広めていることと同じです。また、位置情報入りの写真を公開すると、撮影場所がわかります。インターネット上で個人が特定できそうな話はしないように心掛けましょう。

C

利用時間については家族で話し合い、決めたルールを守って使うようにしましょう。ルールが合わなくなってきたと感じたら、家族と一緒に見直しをしましょう。会話中や、食事中などにスマートフォンを使っていないか、利用の仕方について振り返ることも大切です。

D

イラストや写真、文章、音楽など、どのようなものにも制作者の権利があります。これらをインターネット上に載せるには制作者の許可が必要です。自分以外の人のものであるという意識をもち、それらを尊重した行動を心掛けましょう。

このページには問題は印刷されていません。

このページには問題は印刷されていません。